

1 将来像について

【案1】 ひとが輝き、希望がめぐる、歩み続けるまち びほろ

<考え方>

人口減少時代においても、まちの主演は「人」であり、一人ひとりが役割を持って輝くことが、地域の持続性につながるためである。また、町民の希望に満ち溢れた、明るい将来をイメージした。人口減少社会など大きな変化の中でも挑戦しつつ歩みをとめない姿を示した。

(町民中心・協働重視型)

<ポイント>

- 「つながる」から一歩進み、人が役割を持って輝くことを明確化
- 町民の願いがめぐりまわるような、明るい将来性のあるまちづくりを表現
- 人口減少時代においても「止まらないまち」を表現

【案2】 ともに支え、ともに育つ 未来輝くまち びほろ

<考え方>

行政や一部の担い手だけでは、人口減少社会の課題に対応できない。町民や事業者、来訪者など多様な主体が「ともに」関わり合い、支え合い、育て合うことによって、関係人口も増え持続的な未来につながるまちづくりが可能になるという姿を示した。(参加・協働・共創重視型)

<ポイント>

- 行政主導ではなく、町民・事業者・来訪者が「ともに」関わる姿勢を明示
- 人口減少を前提にしながらも、縮まない「関係人口型のまち」を表現

【案3】 大地の恵みのなか、人が育ち、未来をつくる、誇れるまち びほろ

<考え方>

美幌町が培ってきた農業や水、大地といった地域資源は、他の自治体にはない強みである。学びやまちづくり活動を通じて人が育ち、産業や挑戦によって未来をつくり、地域に誇りを持てる暮らしを実現することで、美幌町らしい価値を次世代へ確実につないでいくことを示した。

(地域資源・産業重視型)

<ポイント>

- 大地の恵みは町の基盤である「農・水・大地・自然」を強調
- 観光や交流も「消費」ではなく、誇りを共有する関係として位置付け

【案4】 ひとが輝き、ともに育つ 誇れるまち びほろ

<考え方>

まちの主演である「人」の夢や願いが実現でき、輝く人生を描けるようなまちづくりをイメージした。また、そのような町民同士が関わり合い、より輝きを放てるよう成長し合うことで、周りに対し誇れる美幌町としていくことを示した。(全体網羅型)

<ポイント>

- 人口減少において、「町民中心のまちづくり」をより重要とする姿勢を明示
- 町民同士の関わりが町の将来にとって重要であることを表現

2 基本目標案について

(1) 基本目標1 時代の変化のなか、地域力を活かした共創による 安心なまち 漢字1文字:安

<考え方>

人口減少や社会環境の変化の中、災害対応や日常の行政サービスを、従来の仕組みだけで維持することは難しくなっています。そこで、地域のつながりや担い手の力を活かし、住民と行政が共創する体制を構築します。あわせて、大きく発展したデジタルなどの先進技術を活用した情報発信や行政運営の効率化を進めるとともに、暮らしの基盤を守りながら、安心のまちづくりを進めます。(地域力・共創を重視)

(2) 基本目標2 日々の暮らしやすさを紡ぎ、だれもが住み続けられるまち 漢字1文字:紡

<考え方>

年齢や家族構成、住まい方にかかわらず、だれもが住み続けられる環境を整えます。医療や福祉、公共交通など、暮らしを支える仕組みを大切にし、高齢者や独居世帯、子育て世代、若者まで、生活の不安や不便を感じにくいまちをめざします。また、身近な声かけや見守りが日常の中に自然と根づく地域の姿を大切にします。(暮らしと基盤を重視)

(3) 基本目標3 日常のつながりを協働で育て、福祉につなげる あたたかなまち 漢字1文字:協

<考え方>

行政や町民、事業者がそれぞれの役割を担い、コミュニティや居場所、日常の声かけや見守りを通じて、「ちょっとした困りごと」を地域で受け止め、支え合うまちを目指します。町民や団体、事業者などができることを重ねてゆるやかに協働し、人と人とのつながりが重なり合うことで、関係性そのものが福祉として機能する、あたたかな地域を育てていきます。(日常の福祉や関係性を重視)

(4) 基本目標4 農・観・商が連動し、新たな「産」が生まれ続ける 活力あるまち 漢字1文字:産

<考え方>

豊富な地域資源により、農林業、商工業、観光業などの産業が有機的につながり、6次産業化や地域ブランドづくりによって新たな「産」を生み出すまち。美幌町の地域資源を活かし、町内外の人がまちなかに滞在し、交流し、消費する流れをつくります。デジタルなどの先進技術も活用しながら、多くの人が集い、挑戦が生まれ、地域全体が活気づく経済を育てていきます。(農業を核とした産業を重視)

(5) 基本目標5 暮らしと環境が支え合う コンパクトで持続可能なまち 漢字1文字:環

<考え方>

人口減少や高齢化、地域構成の変化を前提に、暮らしに必要な機能を中心部に集約し、暮らしやすい都市構造を形成します。また、中心市街地ににぎわいが感じられる空間をつくり、人が集い、交流が生まれる拠点をつくとともに、水やエネルギー、資源が循環する仕組みを取り入れ、将来世代まで安心して暮らし続けられる、持続可能なまちをめざします。(コンパクト化と持続可能性を重視)

(6) 基本目標6 多様な学びで個性が輝き、未来に羽ばたく力を育むまち 漢字1文字:輝

<考え方>

個性や発達段階に応じた選べる学びを大切に、地域での学びや体験を通じて、国際的な視野とふるさとへの誇りと愛着を併せ持つ、グローバル人材を育成します。また、若者や高齢者まで、誰もが自分に合った学びが選択でき、成長できる環境をつくります。地域資源を活かした多様な学習を通じ、子どもから高齢者まで誰もが輝き、未来を描くことができるまちをめざします。(多様性や未来を重視)